

英語化セミナー

世界から見た 日本の化学研究

日本語講演

日時

2018年 **3月22日** **木**
13:30 - 14:30

会場

14号館 1422教室 [S4会場]

定員

約150名

聴講無料・当日会場にて受付

本企画では日本と海外、両方の化学界に精通しておられるラウレアン・イリエシュ先生をお招きし、『ルーマニア出身の先生がなぜ日本の大学で教育を受け、日本のアカデミア界で活躍することを決心したか』『日本と海外の化学研究の違い』などについてご講演いただき、研究者がグローバルに活躍するために大いに役立つアドバイスをお伝えします！



講師プロフィール

ラウレアン・イリエシュ (Laurean ILIES)

東京大学大学院 理学系研究科化学専攻 准教授。
ルーマニア出身。20歳のときに来日し、一年で日本語をマスター。東京大学に入学後、修士、博士号を取得。

助教を経て、現職。中村栄一東大特任教授・名誉教授に師事し、鉄触媒を用いた炭素-水素結合活性反応の開発で顕著な業績を挙げ、多数の賞（文部科学大臣表彰若手科学者賞、有機合成化学奨励賞など）を受賞している。

Try to have a
global perspective!